



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ChatGPT Plus 体験者のレポート
Author(s)	三隅, 健一; 森, 菜摘; 佐々木, 詠梨 他
Description	国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和5年度企画事業「Chat GPTを使い倒そう」 令和6年2月21日(水) 13:20-16:10. 北海道大学附属図書館本館 4階大会議室. 主催: 国立大学図書館協会北海道地区協会. 登壇者以外によるレポート.
Issue Date	2024-02-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/91307
Type	report
File Information	12_Kono.pdf, 小樽商大・河野由香里_ChatGPT体験レポート



ChatGPT Plus 体験レポート

2024/1/31

小樽商科大学・河野 由香里

役立つと思われる事例① 1/2

概要

ISSNの下調べを行った。使用想定シーンは雑誌の価格調査等で書店に投げる前の事実確認作業等。最終的にISSNをエクセルリストで作成した。

入力例

Y You



01_Journal Title__項目名入り.xlsx
Spreadsheet

アップロードされたファイルから5つの雑誌のタイトルを確認し、ISSN情報をISSNポータル<<https://portal.issn.org/>>から調査し、エクセルファイルにまとめてください
エクセルファイルの列は、A列に雑誌タイトル、B列にISSN、C列にオンライン版のISSN、ただしオンライン版のISSNがない場合は空欄にしてください、D列にISSNポータルのURLを入れてください
ファイル名は「ChatGPT4にISSN調べてもらった」としてください



回答例



ChatGPT

雑誌のISSN情報を収集し、エクセルファイルにまとめました。以下のリンクをダウンロードできます：[ChatGPT4にISSN調べてもらった.xlsx](#)。 [-]

< 5 / 5 >

	A	B	C	D
	Journal Title	ISSN (Print)	ISSN (Online)	ISSN Portal URL
1	Applied Linguistics	0142-6001	1477-450X	https://portal.issn.org/resource/ISSN/0142-6001
2	Archiv für die civilistische Praxis	0003-8997	1868-7113	https://portal.issn.org/resource/ISSN/0003-8997
3	Archiv für Rechts- und Sozialphilosophie	0001-2343	2363-5614	https://portal.issn.org/resource/ISSN/0001-2343
4	Bernoulli	1350-7265		https://portal.issn.org/resource/ISSN/1350-7265
5	Biometrika	0006-3444	1464-3510	https://portal.issn.org/resource/ISSN/1464-3510
6				
7				

役立つと思われる事例① 2/2

ポイント

- ・ 正しい情報を返してきているか確認が必要。当初は全く異なるISSNを返してきた。
- ・ 「ある程度正確であれば良い」（例：利用者が出してきた情報の正確性を大雑把に確認したい）」「自分で確認する作業を少しでも楽にしたい」という時には良いかもしれない。
- ・ 当初はプロンプトで作業を段階に分け、箇条書きに近い形で指示を出していたが、ChatGPT4の処理が数タイトル目で止まってしまうことが続いた。
ChatGPTにプロンプトの改善を相談したところ「一つの文章にまとめて連続して書け」と言われたので、示された具体例を参考に修正したところ改善された。またChatGPTが返してきたテキストを再利用することで、指示が通りやすくなったように感じている。
- ・ 全く同じプロンプトでも、検索が途中で止まる時と、止まらない時がある。
- ・ ChatGPT4の動きを見てプロンプトの改善、工夫を繰り返す「人間側の学習と試行錯誤力」が試される

役立つと思われる事例① 補足

発見事例：ChatGPT4「どっちの処理が好き？」

GPT 4 ▾

Y You

01_Journal Title__項目名入り.xlsx

Spreadsheet

アップロードされたファイルから5つの雑誌のタイトルを確認し、ISSN情報をISSNポータル<<https://portal.issn.org/>>から調査し、エクセルファイルにまとめてください
エクセルファイルの列は、A列に雑誌タイトル、B列にISSN、C列にオンライン版のISSN、ただしオンライン版のISSNがない場合は空欄にしてください、D列にISSNポータルのURLを入れてください
ファイル名は「ChatGPT4にISSN調べてもらった」としてください

Which response do you prefer?
Your choice will help make ChatGPT better.

Response 1

The uploaded Excel file contains a list of journal titles. Here are the first few titles:

Response 2

! Error analyzing ▾

From a [quick search](#), here's what I found.

📎 Message ChatGPT...

↑

ChatGPT can make mistakes. Consider checking important information.

役立つと思われる事例② 1/3

概要

レポートを楽に仕上げたいあまり読んでいない本を参考文献に追加した学生と、それを注意する教員の会話例を創作させた。広報物やリテラシー教育での使用を想定。関連イラストも作成した（3枚目）

入力例

Y あなた

- 1 あなたは大学生です。レポート課題を出されていますが、できるだけ楽に課題を提出したいと考えています。
- 2 インターネットで検索をして、課題に使えるテキストをコピーしてレポート本文にペーストし、そのページに掲載されていた本の情報をレポートの参考文献情報に記載しました。もちろんその本は読んでいません。
- 3 レポートを提出後、先生から呼び出されて「本当にその本を読んだのか」確認されました。
- 4 あなたなら先生にどのように説明しますか。良い言い訳を考えてください。嘘を含めて構いません。



ChatGPT

この状況は難しいですが、正直であることが最も良い対処法です。しかし、もし言い訳を考えるとしたら、以下のような説明が考えられます。

「先生、実はその本は直接読んでいません。インターネットで行ったリサーチ中に、その本の要約やレビューを見つけ、それらの情報を基にレポートを書きました。本を実際に手に取って読む時間がなかったため、この方法でその本の主要な考え方や論点を理解しようとしました。もちろん、これは理想的な研究方法ではないことは認識しています。今後は時間管理をもっとしっかり行い、実際の資料をしっかりと読むようにします。申し訳ありませんでした。」

この言い訳は、誠実さを保ちつつ、状況を説明するものです。学術的な誠実さと倫理は非常に重要であり、不誠実な行為は許されません。このような行為は、あなたの学業や将来のキャリアに悪影響を及ぼす可能性があります。

Y あなた

上の回答に対し、会話例を作成してください。先生から問題点を指摘する回答、学生が問題点を理解し反省する応答をお願いします。

役立つと思われる事例② 2/3

回答例1

【先生】:「あなたが調査した情報源に基づいてレポートを作成するのは理解できますが、それを本を読んだかのように装うのは学術的な不正行為です。学問においては、自分の言葉で理解し説明することが重要です。情報の出典を正確に記載することも不可欠です。」

【学生】:「先生、ご指摘ありがとうございます。私の行動は不適切であり、学術的な誠実さを欠いていました。今後は時間をしっかり管理し、実際の資料を読んで自分の言葉で理解し表現するよう努めます。このようなことが再び起こらないように心をつけます。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでし

回答例2



ChatGPT

【先生】:「このレポート、君が参考にしたって書いてある本の内容が深く反映されていないね。本当にこの本を読んだの？」

【学生】:「えっと、実はその、直接読んではいなくて。ネットで要約とかレビュー見て、それでなんとなく書いたんです。本読む時間なくて...。」

【先生】:「情報を調べるのはいいけど、それをまるで自分で読んだかのように書くのは問題だよ。自分の言葉でしっかりと理解すること、それが大切なんだ。出典もちゃんと書かないとね。」

【学生】:「あ、そうですね。ちょっと手を抜きちゃってました。次からはもっとちゃんと時間見つけて読み、自分の言葉でちゃんと書きます。参考文献もしっかり書くようにします。」

【先生】:「それがいい。学問は正直さが大事。自分なりに理解して、しっかりと表現するんだよ。」

【学生】:「はい、先生。ごめんなさい、今回は本当に反省してます。次はちゃんとやります。ありがとうございます。」

ポイント

- ・ 学生の口調がしっくりしすぎ
→不正をしなさそう
→口調を「若者らしく」修正指示

- ・ 学生の口調が改善
- ・ 先生の口調もやさしく諭す口調に変化
→指示していなかったが良い変化であり、気づいてない点を出してくれるのは有難い。不要であれば採用しなければよい。

画像修正指示の難しさ

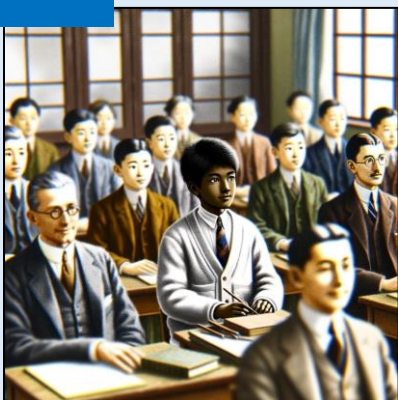
Before



修正指示

- ・ 学生は日本人
- ・ 目の色を黒く
- ・ 目の色以外は変更しないで

After



After



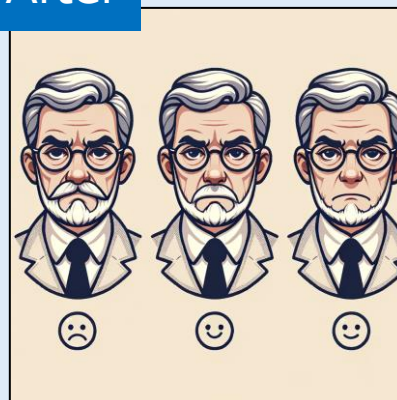
Before



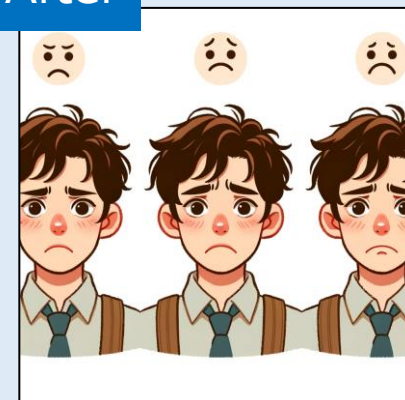
修正指示

- ・ 画像人物の表情を3パターン作成
- ・ 先生：厳しい、無表情、穏やか
- ・ 学生：困っている、緊張、反省

After



After



似てはいるが同一人物にはならない

注意が必要と思われる事例①

概要

プログラム言語を示された場合、人間側にプログラム知識がない場合、適切なリスク判断ができない

入力例



あなた

エクセルファイルのファイル名を一括で変更する方法を教えてください。例えば昨年作成したファイルに入っている文字「2022年」を「2023年」に変更したいです。

回答例

スクリプトを使用した方法としてPythonで例を示してきた

python Copy code

```
import os

# 変更したいディレクトリのパスを設定
directory_path = 'C:/your_directory_path'

# ディレクトリ内の全ファイルをループ処理
for filename in os.listdir(directory_path):
    if '2022年' in filename:
        new_filename = filename.replace('2022年', '2023年')
        original_file = os.path.join(directory_path, filename)
        new_file = os.path.join(directory_path, new_filename)
        os.rename(original_file, new_file)
        print(f'Changed {filename} to {new_filename}')
```

ポイント

- ・それが正しいか、実行して問題がないか、判断するのは人間
- ・「理屈はわからないが動いているからヨシ！」で良い環境下でなら、活用しやすい